



第410号 平成24年9月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 奥村正治

## 第34回近畿学校保健連絡協議会

会長 奥村正治

本年は34回になる近畿学校保健連絡協議会が和歌山県で開催された。別名 日本学校保健会近畿ブロック連絡協議会とも云うようである。7月の26日(木) 35℃ぐらいの気温の中、和歌山市 ビック愛1階大ホールにて行なわれた。この会は、近畿の2府4県を1年ごとに会場としてぐるぐる回っています。昨年は奈良県、来年は兵庫県となっており、そのうち京都にも回って来ます。

参加する団体は、2府4県の学校保健会と政令指定都市、大阪市・堺市・神戸市・京都市の4つの学校保健会とが集まるわけで、10学校保健会の集合体である。

毎年の事であるが、研究協議と題して、各学校保健会より、①各学校保健会の本年度の概要や、特色ある活動②日本学校保健会を通じて、国の学校保健の充実に関する要望等のこの2題をそれぞれ発表するわけです。

京都市の場合、本年は、①は、麻しん、風しん第Ⅲ期集団接種を校医総出で約70校の中学で行ない、本年も政令指定都市で接種率1位を目指す、全国学校保健研究大会において発表を行なうの2題であり、学校医のグループの話題のみであった。②は、9題あり、1)任意接種の予防接種の定期接種化を求める 2)インフルエンザの出席停止期間等のカウント方法を医学に合わせ、混乱の起きない様、見直しをしてほしい 3)数年間MR未接種者の公費助成の延長 4)日本脳炎の中止になった学年(高学年)

の勧奨を行なってほしい 5)薬物乱用防止教育、災害教育支援に更なる充実を 6)学校における結核健康診断の発見率の向上を示せる検診方式の構築 7)シャワー施設等の保健室機能の充実(予算面での支援) 8)スクールカウンセラーの配置の推進と養護教諭の複数配置等を求める 9)泊を伴う学習に看護師等の派遣支援を求めるとなっており、他府県と比較すると具体的な話題が多い様に思われた。

おどろく様な話題も出ている。和歌山県からは、養護教諭の全校配置をされたい、は今なお学校内に養護教諭の先生がおられない様な学校がある様である。大阪市などは、学校保健委員会の開催率の向上と活性化という話題では(平成22年度34%の開催率が23年度51%にと)京都市ではまず学校保健会は100%開催されているのでは?悪くても90%は超えていると思われます。他の府県の話題を聞き、色々のところがあるのだなあ。

次のプログラムは講演である。本年は、岡山大学歯学部小児歯科講師の岡崎好秀先生で、演題は「クイズで語る、おもしろ食育最前線」である。全部でクイズは10題ほどあったでしょうか?いくつかを、紹介します。最初のクイズは、18歳の青年の歯のスライドです。大半の歯がむし歯になっていました。「この青年はどんな人でしょう?」が問です。解答は、少年院にいる青年との事です。生育歴より、犯罪をくり返す子供は、はみがき習慣も少なく、むし歯が多くなるとの事でした。まともな歯がなく食事

はどの歯でかんでいるのでしょうか？という様な歯ならびでした。不思議に思ったのは、スイカが半分に切っており、「野生のサルは、どこから食べるのでしょうか。種からですか？果肉でしょうか？皮からでしょうか？」というのでは、種からでした。本来人間も含め種を中心に食事は進んでいる様です。お米、小麦などの主食も種、大豆から出来ている豆腐なども種、おかしの中に入っているあんも小豆から出来ている。こうしてみると種をよく食べているなあと云うのがよくわかりました。クイズを隣人の人達とワイワイ言っている間に講師の先生は水でのどをう

るおす時間となさり、うまく時間を使っておられるなあ、という講演でした。

落ち着いたくないクラスでは給食の残飯が多いとか、小学生5年生の「食卓は今日一日の報告会」といった標語も紹介されたのが、印象的でした。

歯科の先生の話です。治療を開始するとよく泣く子がいるとのこと。これも小児科の診療とよくにている。先生は帰りぎわに泣いている子がいれば、診療の理念として借金をした、笑顔で帰っていく子を見た時は預金をした、と考えてます。と云われたのには、気をつけて日頃の診療をしようと思いました。

---

---

## 凌風学園の近況

凌風小学校校医 小山 秀 樹

生徒数の増加により昔に陶化小から分かれた東和小、山王小が再び凌風学園として統合されました。開学後、まだ三回ほど構内に入っただけで、学校生活の状態はよく解りませんが、校門を入った感じは明るく清潔でゆったりとした空間が広がっています。教室が二階以上にあり、グラウンドがまだ出来上がっていないため一階には生徒の影が少なく少し寂しいのですが落ち着いた感じがします。私が元陶化中学校に通っていた昭和35,6年頃は、生徒数は2000名を越えており、教室、廊下には人が溢れ活気に満ちていました。

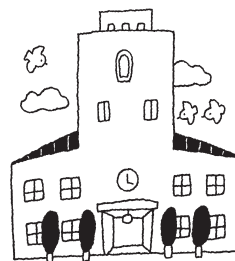
現在の9学年で772名の生徒数をみて、今さらながら、著明な少子化の現状に驚くばかりです。私達の頃は、多くはネギ、キャベツ畑の中道を通って通学し殆どどの生徒は裏門から出入りしており、昼食には全員家まで帰っていました。現在運動場として使用している殿田球場へは、禁止されていましたが金網の塀の破れたところから出入りしていたことが思い出されます。

現在は清潔な給食室、教室、少人数のクラスでの

授業に恵まれ、制服もでき新しい環境にも慣れ少しずつ統合後の緊張感がうすれてきて、元気に活動している様子や、楽しそうに話しながら下校する姿がみられます。

元陶化小での学校保健委員会では、いつも児童虐待への注意を喚起してきましたが、統合後は、全国で深刻な問題になっている（いじめ）の問題の比重が大きくなってきます。

凌風学園では、新設、小中一貫、少人数クラスの利点を生かして、新しい校風を築きあげ、これらの問題に迅速に対処できる環境が育ってくることを期待しています。



## 学校給食巡視事業について

副会長 竹内 宏一

平成10年度より産業医による給食巡視事業が開始されました。平成9年に発生した病原性大腸菌O157食中毒事件を受けて、給食室の全国的なドライシステム（完全ドライ）への変更が実施され始めました。ここで給食室のドライ使用及びドライ運用について簡単に説明しておきましょう。

ドライシステムとは、床に水が落ちない構造の施設、設備、機械、器具を使用し、床が乾いた状態で作業するシステムです。ドライ運用とは、ウェットシステムの調理場においてもドライシステムと同様、床を乾かした状態で使うことです。このことで床に有機物や水分を落とさないため、細菌の繁殖を防止できるとともに、床からの跳ね水による食品の汚染も防止できます。また、ドライ使用、ドライ運用は、長いゴム前掛けや長靴の必要がないため、調理従事者の身体の負担軽減にもなり、健康管理面でも利点があるわけです。ウェット使用で翌朝床が濡れている場合、高温多湿のため細菌、衛生害虫、カビ等の発生繁殖に好適な環境となり、一方、ドライ使用では発生しにくい環境になるわけです。ちなみに定量的に表現すれば、一般生菌数はドライで3000個/100cm<sup>2</sup>、ウェットで10<sup>5</sup>個/100cm<sup>2</sup>というほどの差のあるデータが出ています。

京都では、平成10年度に上賀茂小学校給食室をドライシステムに改修工事を行い、ドライ運用を開始しました。その後、順次改修工事が行われ、平成24年度現在では170校中残り23校で、今年度も10校が改修工事を完了する予定です。

巡視内容は、施設、器具、機械が適正に使用されているか、外部のクリストラップの掃除状況、作業環境は適正か、作業従事者の健康管理、事故予防策等の安全配慮が充分されているかを巡視点検するものです。

教育委員会では、年に4回の「安全衛生委員会」を開催し、教育委員会給食関係者、給食作業従事者、産業医が参加し、報告、事故発生防止策、設備器具の不足、改善等が話し合われています。

今年は、6月末頃より「チビクロバネキノコバエ」の大量発生事件があり、7月末頃までに9行政区で36校の市立小中学校がその被害を受け、その状況報告、対策等が、この「安全衛生委員会」で議論されました。特に、山科、伏見、右京区に被害が集中し、その他拡範囲に及ぶ被害でした。このハエは数ミリの大きさで、窓、網戸、戸の隙間から給食室に入り込み、調理中の釜、調理済みの食事に混入し、食事に「黒ゴマ」をかけた状態になるものでした。幸いにも、健康に有害な昆虫ではなく少し食しても害はないのですが、外見上からしても児童に食べさせるわけにいかず、数日間非常に困った事件でした。

このような予期せぬ偶発的な事件が発生することも考え、児童、給食作業員への安全配慮、リスク管理の為にも、今後も安全衛生委員会は定期的、時には臨時的緊急会議も開催すべきであると痛切に感じた次第でした。



## 第4回 常任理事会

平成24年9月1日  
於 事務局

出席者 奥村会長，林・竹内副会長，井本専務理事，  
藤田・杉本・山内各常任理事，佐野眼科学  
校医会副会長，長村監事

### ・会長挨拶

### <報告事項>

1. 色覚相談 8/7, 8/28 各2名
2. その他

### <協議事項>

1. 平成24年度 ご勇退について
2. 新年会日程について 1/12で日程調整
3. 第62回 全国学校保健研究大会について  
11/8～11/9 熊本
4. 第43回 全国学校保健・学校医大会について  
11/10 熊本
5. 第61回 近畿医師会連合学校医研究協議会総会  
について 11/25 奈良県橿原
6. その他

### <関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 9/4, 9/18, 9/25
2. 第27回 京都市小学校「大文字駅伝」大会実行  
委員会 9/5
3. 京都市立桂中学校MRⅢ期予防接種最終校  
9/7
4. 腎臓相談 9/11
5. 京都市学校保健会 第2回表彰委員会 9/11
6. 精神衛生研究会 9/13
7. 第12回 京都「こどもの心とからだ」教育講演会  
9/15 14:00～ 於：こどもみらい館
8. 京都市学校保健会 第2回常務委員会 9/25  
14:00～ 於：京都市総合教育センター
9. 京都市学校保健会 第2回企画委員会 9/25  
13:30～ 於：京都市総合教育センター
10. 第5回 常任理事会 10/6 14:00～
11. 中京西部支部会 10/6 17:30～
12. 子育て支援シンポジウムについて 10/13  
14:00～ 於：こどもみらい館
13. その他

